

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 革新的内視鏡治療のための局所投与用光免疫療法薬の創出
2. 研究代表者： 花岡 宏史（関西医科大学 光免疫医学研究所 研究所教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、光に反応する薬剤を投与後、光を照射することで、がんを治療する光免疫療法を内視鏡へと展開した、新しい内視鏡治療法の創出を目的とする。がんに対して局所投与するのに最適な光免疫療法薬を開発し、簡便かつ治療効果の高い内視鏡下での光免疫療法の確立を目指す。フェーズ 1 では、特定物質を標的とする光免疫療法薬の設計では一定の成果を示していると評価できる。しかし、内視鏡での応用で重要となる消化管粘膜における薬剤の組織浸透性の検討は十分とは言えない。フェーズ 2 では、内視鏡を用いた治療への応用に卓越性を見い出せるよう、現在の課題を整理し、それらの解決を期待する。また、機器開発への積極的な取り組みや学内の関連部署との連携にも期待する。

以上